

令和7年度第3回 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会会議録

日 時 令和7年11月11日（火） 13:30～15:00

場 所 1階 101会議室

委 員 塚本 松本 宮田 福島 今井 三輪 杉浦 坪井 松浦 南川 高橋 中根 近藤

事務局 加藤直 杉浦 木下 新實 太田 磯村典 加藤良 細山 加藤貴 磯村真 岩上
平野 喜田

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 江口、門澤

意見・質疑等

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 介護保険関係施設の整備について（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

・特になし

(2) 介護保険サービス事業所の指定等について（資料2）

【説明】 事務局

会 長 更新する事業所のうち、苦情が入っている事業所はあるか。

事務局 特に苦情は受けていない。

会 長 近隣や家族からの声も注視していくことが重要。近年では、利用者の半数以上が虐待を受けているケースも散見される。特に地元の人が立ち上げた事業所などは言いにくい面もあるが、刈谷市ではそのようなことがないようにしてほしい。事務局で更新を決定するため、現場で雰囲気を確認し、顔の見える形で運営指導を行っていく必要がある。

(3) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の進捗状況について（資料3）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 3ページ目のオンラインによる介護予防事業について。登録者は増加しているが、実際

にどれくらいのアクセスがあるのか。また、効果測定はどのようにしているのか。

事務局 Zoomによるライブ中継とYouTubeでの動画配信をしている。Zoomでの参加者は10名程度となっている。最近はオンラインを利用できない人もいることから、拠点として会場を設けて実施しているところも出てきている。YouTubeは100人程度に見ていただいている。効果測定は難しいが、実施していただければ介護予防につながるものと考えている。今後は、LINEのアンケート調査の実施を検討する。

委員 オンラインの参加者の方には、実際の体操教室などに参加してもらえるよう促しているのか。

事務局 同時に事業のPRも行っているので、各事業で連携をとりながら効果を高めて実施していきたい。

委員 ちょこっとささえあい事業について、どのような依頼内容があるのか。

事務局 特に掃除やゴミ出しの依頼を多く受けている。また、話し相手や買い物も依頼回数が多い。草取りの要望もあり、7～9月は熱中症予防として実施を控えているため、10月以降増加してきている。

委員 ゴミ出しや掃除は頻繁にあり、「ちょこっと」というよりも恒久的な事業としての検討はいかがか。また、同じ人が同じ依頼をすることが多いと思われるが一部のサポーターに負担がかかっているのか。

事務局 掃除やごみ出しの依頼については、繰り返して利用いただいていることが多い。支援する側に負担がかからないようにサポーターはローテーションしている。また、過度なサービスにならないよう、自分でできることは極力自分で行うようお願いしている。

委員 活動内でトラブルはないか。

事務局 大きな問題はないが、一部のサポーターの方がお手伝いをやりすぎてしまうことで予定時間を超過するなどの事例はある。サポーターもお手伝いしたいという思いが強いため、サポーターの方にお手伝いをしすぎないように依頼するなど、バランスのとれた対応をお願いしている。

委員 公共交通の高齢者タクシー助成制度について「改善策」とは具体的には何か。

事務局 現状通院などを目的とした利用が多い。食事や趣味など自由な使い方ができることについて周知を検討している。

委員 認知症サポーター養成講座をコンビニエンスストアで実施したのはなぜか。

事務局 推進員と相談し、高齢者の方が頻繁に通う場所、顔見知りが多い場所ということで、コンビニエンスストアで実施した。今後も、薬局や銀行など、高齢者の方が行きやすい場所でサポーターを養成できればと思う。

委員 ハローワークとのつながりなど、介護事業所に人材をつなげていくような活動は検討しているのか。

事務局 今年度から、マッチング支援を実施している。介護の事業所でどのような働き手がほし

いか調査し、介護職・事務職にかかわらず、その必要な職種等の情報を市で集約する。また、介護に興味があり、働く意向がある人にその情報を提供するという、つなぐ支援を考えている。

会 長 事業所の見学会など現場を見てもらうことも効果的。また、離職防止の観点からは、現場で働いている人への支援も必要だと思われる。いずれにしても、事業所と共有しながら一緒になって検討していくことが望ましい。

3ページのエンジョイ教室の参加者が増加している件について、分析が必要だろうと思う。年齢層やPR方法が変わっていなければ、どこに興味を持って参加したのかを把握すると、次の取り組みにつなげていくことができる。

(4) 刈谷市高齢者等実態調査について（資料4）

【説明】 事務局

【質疑応答】

会 長 令和4年度に実施した一般高齢者向け調査の問5、問6、問7と続く「介護・介助が必要か」の質問について、今介護が必要ないと回答した人については、問6、問7を回答しないことになると思うが、今後、介護・介助が必要になった場合に誰に介護・介助してもらいたいかという趣旨の質問はしないのか。

事務局 令和7年度に実施する調査では問6、7を削除しており、削除した理由としては、調査対象者が認定を受けていない高齢者であり、把握する必要性が薄いと判断したためである。ご意見に関連する質問としては、令和4年度調査の問70（介護が必要になった場合にどうしたいか）を令和7年度調査も同様に掲載している。

会 長 問70は介護保険を利用したサービスの必要性を問う内容であるが、インフォーマルな支援が選択肢にあっても良いと思う。

事務局 掲載に向けて検討する。

会 長 在宅介護は家族の負担が大きく、介護者に向けた支援が重要になる。認定者に向けた調査の14ページにある“介護するうえで困っていること”について、困っていることだけでなく、介護者が必要としている支援の内容について聞いても良いと思う。

事務局 介護者への質問については、令和4年度調査票の11ページ以降多くの設問を掲載している。令和7年度調査も同様に掲載していく予定である。

会 長 介護をしていく上で何が支えになっているか、ということを知りたい。

事務局 掲載に向けて検討する。

4 その他

事務局 次回の開催について、令和8年2月17日（火）午後1時30分からとさせていただきます。また詳細は改めて通知する。

5 閉会

会 長 本日の議題については、これですべて終了した。これにて令和7年度第3回の刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会を閉会とする。